

# インフラ整備70年 講演会(第58回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

首都圏の旺盛な航空需要に対応するために拡張を続ける

## 羽田空港

### <講演内容>

はじめに

1. 羽田空港拡張の変遷
  2. ハイブリッド構造の提案
  3. 設計施工一括発注方式による契約
  4. 施工(栈橋部+接続部)
  5. 施工(埋立部+管理運営)
- 全体の統括と今後の展開

### <講演者>

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 藤田 武彦 | 元関東地方整備局港湾空港部長            |
| 小池慎一郎 | 元関東地方整備局 首都圏空港調査課長        |
| 池上 正春 | 元関東地方整備局横浜調査設計事務所長        |
| 菊地身智雄 | 元関東地方整備局 港湾空港企画官・元国土交通省技監 |
| 坂本 好謙 | 鹿島建設株式会社                  |
| 野口 哲史 | 五洋建設株式会社                  |

写真提供:国土交通省 関東地方整備局

2025年 2月20日 (木)

講演会:16:00～18:00 意見交換会:18:00～19:00

場所:政策研究大学院大学想海樓ホール (会場・WEBのハイブリット形式)

定員:会場 200名 WEB 1000名

首都圏の旺盛な航空需要に対応するために、羽田空港は拡張を続けている。

2本の滑走路でスタートした羽田空港は、旧C-runの整備に続けて、超軟弱地盤（マヨネーズ層）対策技術を駆使した沖合展開事業によって新C-runを整備したが、さらに次なる首都圏第三空港の建設が模索された。

多摩川河口に位置する羽田空港は、航空行政を司る運輸省と河川行政を司る建設省との間で治水上の影響を巡る長い論争があった。これに対して河口部は栈橋構造を採用することで国土交通省としての決着を得て、沖合に4本目の滑走路（D-run）を計画した。しかしながら当時不況に喘ぐ造船工業会から浮体構造（メガフロート）が提案されて、新たな技術論争が惹起された。

最終的には設計施工一括発注方式（デザインビルド）によって埋立・栈橋ハイブリッド構造が採用されて今日に至る。ここではその長い技術論争と、これらを乗り越えて4本の滑走路を整備し運用している関係者の道程を報告したい。

主催：（一社）建設コンサルタンツ協会

後援：（公社）土木学会

（本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております）

インフラ整備70年講演会(第58回)  
首都圏の旺盛な航空需要に対応するために拡張を続ける羽田空港

《講演者》

藤田武彦 (一社)海外運輸協力協会 会長  
小池慎一郎 (一財)みなと総合研究財団 専務理事  
池上正春 (株)日本空港コンサルタンツ 代表取締役社長  
菊地身智雄 (一社)港湾荷役システム協会 先端物流戦略研究所長  
坂本好謙 鹿島建設(株) 技師長  
野口哲史 五洋建設(株) 取締役専務 土木本部長

**講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)**

- 会場 (講演会2000円・意見交換会2000円)、WEB (講演会無料) どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP (<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

**【注意事項】**

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報インフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等はお断り頂きますようお願いいたします。

**<会場参加について>**

- 申込完了者は、**2/13(水)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせていただきます (振込が期日より遅れますと後日郵送となります)。

**三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944**

**イッパ ンシャダ ンホウジ ンケンセツコンサルタンツキョウカイコウシュウカイヨウグ チ カイショウ ナカムテツ**

(複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の問い合わせ先メールにご連絡をお願いします)

**<WEB配信について>**

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)

問合せ先 E-mail: [infra70@jcca.or.jp](mailto:infra70@jcca.or.jp)

**「インフラ整備70年」講演の目的**

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとししました。

\*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

**<次回講演会予定>** 第59回講演会 2025年5月8日(木) 14:00~16:00 (仙台市にて開催)

テーマ: 近代治水の発展に地域と共に歩んだ北上川五大ダム

講演者 平山健一 岩手大学 名誉教授  
佐藤伸吾 元国土交通省 北上川ダム統合管理事務所  
松本孝矢 鹿島建設(株)  
渥美雅裕 東北地域づくり協会

\* 会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です